

Hatano Yuki

波多野 祐希



「起こり」(2024)

Photo by Atsushi Matoyama

混融 Mixed Melting

# 現代考

やちもの

愛知県陶磁美術館×  
瀬戸市新世紀工芸館共催事業企画展  
若手作家紹介事業 02

2024 11.16 土 →  
2025 1.13 月・祝

池田 貴普

Ikeda Takayuki

「存在の痕跡 '22-4」(2022)



「有線七宝八角箱 氷河」(2020)

会場

瀬戸市新世紀工芸館 展示棟

開館時間

午前10時～午後6時  
(※最終入館は午後5時30分まで)

入館料

無料

休館日

毎週火曜日・年末年始  
[12月28日(土)～1月4日(土)]

主催

愛知県陶磁美術館  
瀬戸市新世紀工芸館  
公益財団法人瀬戸市文化振興財団

津守 秀憲

Tsumori Hidenori



瀬戸市新世紀工芸館  
Seto Ceramics and Glass Art Center

若手作家紹介事業

# やきもの 現代考

## — 混融 Mixed Melting —

「やきもの」という言葉は陶磁製品を指し示すのが一般的であるが、実際の範疇は陶磁にとどまらず、ガラスや七宝なども含まれる。いずれも素材に根ざす独自の表現領域として確立しているが、近年ではそれぞれの領域の素材を横断した新たな表現も試みられている。そもそも素材の差異は陶磁やガラスといった独自の面白さを生み出している一方で、また同時にその差異が溶けて交わる中間領域を有するからこそ、表現として様々な可能性を秘めている。

本展では素材の混融がみせる表現に取り組む陶芸、ガラス、七宝作家の活動に焦点を当て、「やきもの」が含むうる表現の射程を再考する。

### □ 当館交流棟のご案内

〈企画展〉「冬のおくりもの展 同時開催：干支の置物展」  
2024年11月16日(土)～2025年1月19日(日)

### □ 近隣施設のご案内

◆瀬戸市美術館 TEL:0561-84-1093

〈特別展〉「九谷赤絵の極致 宮本屋敷と飯田屋八郎右衛門の世界」  
2024年11月30日(土)～2025年2月23日(日)

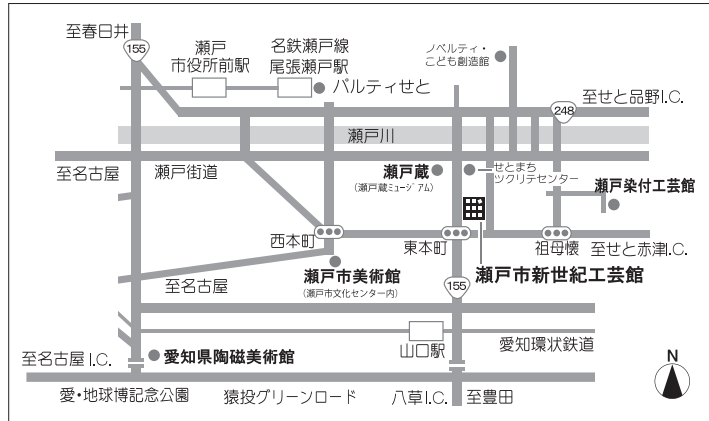
◆瀬戸蔵ミュージアム TEL:0561-97-1190

〈企画展〉「新収藏品展2020-2022」  
2024年9月7日(土)～2025年1月19日(日)

◆瀬戸染付工芸館 TEL:0561-89-6001

〈企画展〉「瀬戸染付 草花の表現」  
2024年12月7日(土)～2025年3月23日(日)

### □ アクセス情報



●JR名古屋駅から地下鉄東山線で「栄」へ。名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「尾張瀬戸」へ。「尾張瀬戸」から南東へ徒歩7分。(所要時間約1時間)

●東名高速道路「名古屋I.C.」「長久手I.C.」を降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」、または「八草I.C.」まで行き左折(北)し、瀬戸市街地へ。(所要時間約30分)

●東海環状自動車道「せと赤津I.C.」を降りて瀬戸方面へ。(所要時間約10分)

## 池田 貴普

Ikeda Takayuki

1981 大阪府生まれ  
2004 京都伝統工芸専門学校  
(現:京都伝統工芸大学校)  
金属工芸専攻 卒業

現在 株式会社安藤七宝店 本社工場(株式会社丹陽商会)を拠点に制作

### 〈主な展覧会〉

2020 「愛知の工芸2020」(古川美術館/愛知)  
2022 「第69回日本伝統工芸展」(日本橋三越本店/東京)  
2023 「ガラス・七宝次世代工芸展」(ガレリア輪船/岐阜)  
2024 「日本工芸会×飛鳥クルーズ」(飛鳥II)

### 〈主な受賞〉

2015 「第25回伝統工芸館工芸部会賞」日本工芸会賞受賞(日本橋三越本店/東京)  
2016 「第47回東海伝統工芸展」安藤氏賞受賞(丸栄/愛知)  
2018 「第49回東海伝統工芸展」安藤氏賞受賞(丸栄/愛知)  
「第65回日本伝統工芸展」日本工芸会奨励賞受賞(日本橋三越本店/東京)  
2021 「第51回東海伝統工芸展」NHK名古屋放送局長賞受賞(愛知県美術館/愛知)  
2022 「第52回東海伝統工芸展」岐阜県教育委員会賞受賞(愛知県美術館/愛知)



左から:「有線七宝八角箱 水河」(2020)  
「有線七宝八角箱 水河II」(2021)

## 津守 秀憲

Tsumori Hidenori

1986 東京都生まれ  
2012 多摩美術大学美術学部工芸学科  
ガラスプログラム 卒業

2012 Pilchuck Glass School  
Summer Program受講  
(アメリカ・シアトル)

2014 富山ガラス造形研究所 卒業  
2017 金沢卯辰山工芸工房 修了  
2017-2020 富山ガラス造形研究所 助手  
現在 東京のアトリエを拠点に制作

### 〈主な展覧会〉

2021 「The Armory Show 2021」(Javits Center/アメリカ・ニューヨーク) 「胎動 '22-2」(2022)  
2023 特別展「跳躍するつくり手たち:人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー」(京都市京セラ美術館 新館東山キューブ/京都)  
2023 「アナザーワールド:不思議でリアルな世界」(富山市ガラス美術館/富山)  
2023 「玻璃幾分熟 - 當代国際藝術展」(新竹市ガラス工芸博物館/台湾・新竹)  
2024 「TEFAF Maastricht('17-'23)」(MECC Maastricht Forum 100/オランダ・マーストリヒト)

### 〈主な受賞〉

2018 「富山ガラス大賞展2018」銀賞(富山市ガラス美術館/富山)  
2019 「国際ガラス展・金沢2019」大賞(石川県政記念しいのき迎賓館/金沢)  
2022 「第5回金沢・世界工芸トリエンナーレ - 2022金沢・世界工芸コンペティション」準大賞  
(金沢21世紀美術館/金沢)

### 〈主な収蔵〉

Museum of World War II(アメリカ・マサチューセッツ)  
石川県能登島ガラス美術館(石川)  
富山市ガラス美術館(富山)



## 波多野 祐希

Hatano Yuki

1993 愛知県瀬戸市生まれ  
2018 愛知県立瀬戸窯業高等学校  
セラミック陶芸専攻科 修了

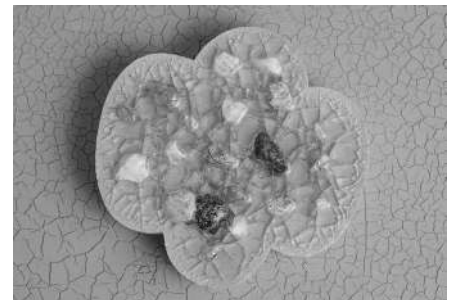
2020 瀬戸市新世紀工芸館  
陶芸コース 修了  
現在 愛知県瀬戸市を拠点に制作

### 〈主な展覧会〉

2019 二人展(ギャラリー芽菜/愛知)  
2021 個展(good is good./京都)  
2022 個展(good is good./京都)  
2023 「The world reflected on the material」(瀬戸市新世紀工芸館/愛知)  
2024 個展(MATOYA/愛知)

### 〈主な入選・受賞〉

2017 「第70回瀬戸市美術展」第70回記念賞  
2018 「第32回四日市萬古陶磁器コンペ2018」審査員特別賞  
2019 「第3回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」審査員特別賞(大長智広賞)  
2021 「第12回国際陶磁器美濃」入選  
2022 「第4回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」審査員特別賞(市野雅彦賞)



「像を結ぶ」(2023)  
Photo by Atsushi Matoyama

